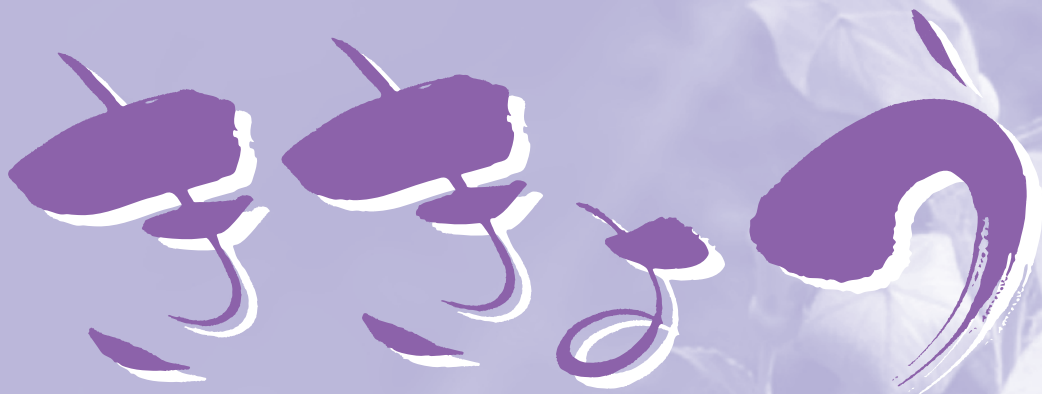




情報開示特集(保育・高齢者・障がい)

令和4(2022)年度 研修報告/地域貢献活動報告/事業報告/決算報告
令和5(2023)年度 研修計画/事業計画/資金収支予算(4～10面掲載)

巻頭言

福祉事業が地域貢献を担う側面を踏まえ、異業種の農業と福祉の

「農福連携」を推進、食の安全・安心、食育など地域に一層根付いた展開を — 2

「農福連携」さらなる地域への結びつき強める — 3

「居住支援法人」に指定 担当事業所・吹田竜ヶ池ホーム — 3

認定こども園千里丘愛育園が発足 愛育園グループ4番目 — 3

ご利用者から介護スタッフに 高槻けやきの郷デイサービスセンター — 3

新任挨拶 — 3

高橋佳子園長(認定こども園さきりん愛育園)/平能子園長(東生野愛育園)

寸劇を交え保育現場をリアルに 保育基礎研修 — 4

先輩からのメッセージ — 4～5

白見春菜さん(認定こども園千里丘愛育園)/河田真衣さん(岩戸ホーム)

国際色豊かなグローバル初任者研修始まる — 5

「いこい庵」にパン屋とスパイスカレー屋お目見え 岩戸ホームの多目的施設 — 7

認知症受診の目安は? きりんデイサービスセンター長濱係長が講演 — 11

トピックス — 12

個性豊かなトーテムポールや動物の置物
「ゆめさき なかま展」

ライフ・ステージ 夢咲(舞鶴市、地域共生型総合福祉施設)のご入居者・ご利用者が制作した作品展示が6月1日から1ヶ月間、舞鶴市身体障害者福祉センター内ギャラリーで開かれました。題して「ゆめさき なかま展」。

出展のきっかけは正月行事の「書初め」。感性豊かで個性的な似顔絵やイラストなどの作品がスタッフ間で共感を呼び、「多くの方にも観てもらおう」と制作に着手。スケルメン(クリアファイの似顔絵)のトーテムポール、松ぼっくり加工の動物の置物(命名ハリー)、新聞紙で作った兜の大型壁面作品などユニークな作品が会場を飾りました。見学に来られた地域の方から「心が和む展示空間です」と温かいメッセージが寄せられました。

「つとい場桜」(摂津市の委託事業)でフラワーアレンジメント
地域の高齢者23名参加

せつつ桜苑の「つとい場桜」(摂津市からの委託事業)で5月30日、地域の高齢者23名が「フラワーアレンジメント」を楽しめました(写真)。



ボランティアの協力もあり下準備もスムーズ。「綺麗な花に癒される」「部屋に飾るのが楽しみ」と完成した作品にみなさん大満足。花の香りには副交感神経活動を活性化し、脳をリラックスさせる効果や作品づくりの作業を通じて、身体機能のリハビリ効果にも期待できるそうです。

「アサリいっぱい獲れたよー」
二色の浜の潮干狩り遠足

認定こども園さきりん愛育園の5歳児クラス(51名)は5月17日、二色の浜海水浴場の潮干狩り場(貝塚市)へ大型観光バスで遠足に出かけました。

園児たちは、前日まで貝の種類を図鑑で調べるなど心待ち。浜では「アサリいっぱい獲れたよー」「これはマテ貝?」とあちこちで大歓声。お土産のアサリは「蒸して美味しく食べました」とのちに保護者からの声も聞かれました。ヤドカリは園に持ち帰り大切に飼育しています。

「赤ちゃんタマネギやー」
プール脇の菜園で玉ねぎ収穫

認定こども園正雀愛育園の4.5歳児クラスは5月12日、室内温水プール前の菜園で初めて育てた玉ねぎを収穫しました。

子どもたちが「抜けへんなあ」「あとちょっとや」と懸命に玉ねぎを土中から引き抜くと、丸々と立派に成長したもの、小さなものは「赤ちゃんタマネギやー」と歓声。生と加熱の食べ比べでは「(加熱で)甘くなった!」と味の変化を楽しみました。様々な野菜栽培から学ぶ食育活動の一環です。



〔法人理念〕

1. 個人の尊厳を旨として、その人にふさわしい最善のサービスの提供に努める。
2. 地域に開かれ、愛され、地域福祉の拠点となる施設経営を目指す。
3. 専門的知識、技術の研鑽に努め、誇れる施設を目指す。

〔サービス目標〕

1. オンリーワンとナンバーワンを目指す。
2. オンリーワンとはその施設にしかない特色の創造であり、ナンバーワンとはご利用者の処遇の満足度を高めるため、常時積極的な取り組みをすることである。

〔愛育園経営方針〕

1. 新しい時代に生きる力の基礎を培う。
2. 女性の社会参加の支援に貢献する。
3. 地域子育て支援を積極的にに行い、子どもの成長を喜ぶ社会の実現に寄与する。

〔高齢者施設経営方針〕

1. 安らぎのある生活と環境を提供し、生きる喜びを創造する。
2. 介護機能の多様化を図り、ご利用者に対し、総合的なサービスの提供をする。
3. 地域の一員として、地域福祉の活性化に貢献し、超高齢社会のセーフティーネットの機能を発揮する。

〔障がい施設経営方針〕

1. その人らしく健やかにともに暮らし、希望をもって社会参加できる環境を提供する。
2. 地域の中で個々のニーズに合った専門性の高い総合的なサービスを提供する。
3. 地域にあって良かったと誰もが笑顔で過ごせる、信頼される施設運営を目指す。

【発行日】2023年7月

【発行】社会福祉法人 成光苑(理事長 高岡 國士)
〒566-0001 大阪府摂津市千里丘3丁目16-7
TEL.06-6330-3776 FAX.06-6388-9551
URL. <https://swc-seikouen.or.jp/>

★「ききょう」の由来

創業者が愛した京都府福知山市は、冷泉を利用して地元に開放するお風呂を作り、当法人として老人施設を初めて開設した地。その福知山市の花である「桔梗」から名づけられました。「ききょう」の花言葉は「変わらぬ愛」「誠実」「感謝」「気品」。

QRコードで簡単アクセス!



社会福祉法人 成光苑

2023
夏号

巻 頭 言



福祉事業 地域貢献 担 側面 踏 、 異業種 農業 福祉
「農福連携」推進、食 安全 安心、食育 地域 一層根付 展開
理事長 高岡 國士

日ごろから社会福祉法人成光苑の事業推進に
あたり、皆様の多大のご協力とお力添えいただき
感謝とお礼申し上げます。

注視したい「こども未来戦略」の
財源確保めぐる予算編成

世界の中で最も早いスピードで高齢化が進み、
超長寿国としての日本は将来的には人口減少社
会へと変わりつつあり、子育てしやすい環境でない
との風潮が少子化をさらに加速するといわれる
不安があります。

岸田首相による「2030年までが少子化反
転のラストチャンス」との発言を受けて、政府は「異
次元の少子化対策」の強化策を盛り込んだ「こ
ども未来戦略方針」を閣議決定しました。岸田首相
は、今後3年間で集中的に取り組む「加速化プラ
ン」として年間3兆円台半ばの予算を確保し、取
り組みを進めるとしています。安定的な財源の確
保をめぐる年末の予算編成に向けた今後の議論
を注視することが肝要であります。

将来的経営を見据え、スタッフの
さらなる処遇改善も陳情・要望すべき

また、かつてない速度で進む少子化に、政府内
では「社会や経済が維持できなくなる」という強い

危機感があります。それだけに、経済的支援だけ
でなく、保育サービスの充実や育休拡充、それに
職場や社会の意識改革といった面まで、幅広い施
策が必要となります。当法人としても、単に子ど
もイコール保育部門ということだけではなく、取
り巻く社会経済情勢の変化に機敏に対応しなが
ら法人（園・施設）の将来的経営を見据えてほしい
と思います。場合によっては、従事されているスタッ
フの更なる処遇改善についても、あらゆる機会を
捉えて国に陳情・要望していくべきだと考えます。

農業との事業推進のため
部門に関係なくスタッフの知恵を

成光苑の将来のありたい姿を議論する中で、
今後の事業展開として、福祉以外の業種との連
携を強化することで、これまで以上に地域に根
付いた施設法人を目指すことを決定しました。

農福連携

異業種の農業と福祉をつなぐ さらなる地域への結びつき強める
耕作放棄地活用、農園クラブ開設など岩戸ホーム（福知山市）で先駆的取り組み始まる

社会福祉法人成光苑では4月の法
人経営企画会議、続く6月の令和5
年度決算理事会で「農福連携プロジェ
クト」の推進が明らかにされ、さらなる
地域に根付いた施設法人を目指すこ
とになりました。食の安全安心、食育、
食材費高騰による自給自足の必要性
など農業の役割を踏まえ、異業種の
農業と福祉をつなぐ新たな事業展開
です。

成光苑が施設の所在する地域に設
けている相談窓口の一つ、岩戸ホーム福
知山市に寄せられた「住民の困りご
と」に着目したのがきっかけ。例えば、
農業人口減少による耕作放棄地問題
などに対応した取り組みが「農福連
携構想」。「経営品質向上活動プロジェ
クト」（プロジェクト）長・藤原義章理事
として、成光苑の将来のありたい姿
を議論する中で浮上しました。

岩戸ホームではすでに地域企業と
連携、ご利用者による食品加工のお
手伝い（「ききょう」）2022年夏号
掲載）や食の安全安心の観点から、地

社会福祉法人 成光苑

大阪府の指定受け情報提供、相談支援、啓発活動担う 吹田竜ヶ池ホーム
高齢者、子育て世帯などの住宅支援、4月からスタート

社会福祉法人成光苑は今年初め、
大阪府より住宅確保要配慮者居住
支援法人（以下居住支援法人）に指
定されました。担当事業所は吹田竜ヶ
池ホーム。当面は啓発や相談などの支
援業務を担い、転居先確保など相談
の受付窓口を設置、4月からスタート
しています。

居住支援法人は大阪府知事が住宅
セーフティネット法（*）に基づき指定、
住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅へ
の入居に関する情報提供、相談や見

守りなど居住支援を行う。障がい者や
被災者、高齢者などの「住宅確保要配
慮者」が安心して暮らせる活動です。

住宅確保要配慮者をサポートする
吹田市居住支援協議会が設立（2月
24日）され、吹田市、吹田市社会福祉
協議会、同市内で指定（居住支援法
人）されている社会福祉法人（みなと
寮、こはと会、成光苑）、不動産関係2
団体が会員となり、住宅を確保しに
くい人を支援。吹田市と救護施設を
運営するみなと寮を事務局とし、入

居に関する相談サポートなど支援を
担います。

（*）住宅セーフティネット法 「住
宅確保要配慮者に対する賃貸住宅
の供給の促進に関する法律」
（2017年公布）。賃貸住宅や空
き家などの有効活用を通じ「住宅確
保要配慮者（高齢者、子育て世帯、
低所得者、障がい者、被災者など）」
が入居しやすい賃貸住宅の供給促進
を図るのを目的とする。

認定こども園千里丘愛育園が発足
愛育園グループ4番目

認定こども園千里丘愛育園（摂津市）が4
月1日、発足しました。教育と保育を一体的に
行う幼保連携型認定こども園は愛育園グ
ループで4番目。定員は225名。

一方、JR千里丘駅西エリアで、同園から
徒歩5分の千里丘愛育園分園ひよこ園は
「市街地再開発事業及び関連する都市計
画」（竣工予定2027年3月）の対象となり、
予定通り3月末に閉鎖しました。同エリアは
JR大阪駅から約14分の交通の要衝です
が、築年数の古い木造住宅が多く、駅前の
交通混雑の要因になっていました。

認定こども園千里丘愛育園は今後とも待
機児童が生じないよう、また、働き方の多様
化など社会情勢の変化に対応し地域子育て、
ご利用者支援に積極的に取り組みたい
と考えています。

これまでの認定こども園化（移行年順）

①認定こども園正雀愛育園（摂津市）
移行:2015年4月1日
②認定こども園一津屋愛育園（摂津市）
移行:2016年4月1日
③認定こども園きりん愛育園（吹田市）
移行:2022年4月1日
④認定こども園千里丘愛育園（摂津市）
移行:2023年4月1日

新任挨拶

子どもに楽しく、保護者に
安心してもらえる温もりのある園に

認定こども園きりん愛育園
園長 高橋 佳子

4月1日付けで認定こども園きりん
愛育園の園長に就任いたしました。
少子化が加速する中、保護者の「下
に合った保育サービスの提供に努め、地域
の中で「きりん愛育園があつてよかった」
と選ばれる園を目指しスタッフ、
丸となつて邁進したいと考えて
おります。歴代の園長が築き上
げて来られた保育を大切にしま
がら、子どもたちにとって楽しく大好きな
園、保護者にとって安心して預ける身近
で温もりが感じられる園になるよう皆様
方のご指導・鞭撻をよろしくお願い申し
上げます。

令和5年度より東生野愛育園の園長
として就任いたしました平能子です。
同園の運営では、前任の高橋佳子園長
とともに主任保育士として12年間携わ
り、様々な経験を通じて多くの
学びを得ることができました。こ
の学びをしっかりと活かして園
長としての重責を果たせるよう
日々精進してまいります。園児・保護者
だけでなく、スタッフからも愛され、頼り
にされる園長を目指して頑張りま
す。ご指導・鞭撻のほど、よろしくお願
い申し上げます。

東生野愛育園
園長 平 能子

ここ（80歳）から挑戦！

ご利用者からボランティア介護スタッフに
高槻けやきの郷デイサービスセンターの登間佐孝男氏

高槻けやきの郷デイサービスセンターのご利用者、登間佐孝男氏（80歳）は、同セン
ターをご利用されながら介護職員初任者研修講座を受講され見事に資格を取得、さら
に「介護の仕事に携わりたい」という夢を実現、7月から同センターのボランティア介護ス
タッフとして活躍されています。

登間佐氏は3年前、外出先での心不全の発症をきっかけに同センターを週2回（主に
運動機能向上）ご利用、スタッフや他のご利用者とも積極的にコミュニケーションをとら
れ、明るくムードメーカー的な存在です。

登間佐氏は昨年8月頃、宇野篤史生活相談員に「介護職員初任者研修（11月）に
チャレンジするよ」と明かされ、「ここ（同センター）にお世話になり、体力の回復とともに今
後の人生で自分に何ができるか」と考えるようになったそうです。

登間佐氏は同センターの事業概要や成光苑の取り組みを調べるかたわら、実際に
介護サービスを受ける身としても法人理念や地域との関り
について共感され、「ここ（80歳）から一念発起し介護と地
域貢献について学びたい!」と決意されました。

初任者研修が始まると、登間佐氏が同センターをご利用
される際はスタッフも資格取得のお手伝い。介護の専門用
語や介護技術などの説明にも真剣に対応され、今年1月、
念願の資格を取得、「可能なら介護の仕事に」とさらなる夢
を語られました。

宇野相談員は、登間佐氏の夢の実現に向けご家族、施
設（地域福祉推進会議など）、担当ケアマネジャーと協議を
重ね、ボランティアスタッフに就かれることが決まりました。



グローバル初任者研修始まる 国際色豊かな介護の資格取得講座 ライフ・ステージ 夢咲で7～11月

第13回グローバル初任者研修がライフ・ステージ 夢咲(舞鶴市、地域共生型総合福祉施設)で開催しています。老若男女を問わず、在日外国人の方にも気軽に受講できる国際色豊かな資格取得講座です。期間は7月1日～11月12日。

外部講師を招くほか、経験豊富な現場スタッフ講師陣が理解しやすく、受講中も楽しい講義を心掛けています。介護の仕事に興味をお持ちの方がおられましたらご連絡ください。詳しい日程や内容は担当のライフ・ステージ 舞夢(電話:0773-83-0221)へ。



「介護職の役割」英語交えて講義 在日外国人 介護の日本語教室「つぼみの会」開催



ライフ・ステージ 夢咲で4月21日、在日外国人対象の介護の日本語教室「つぼみの会」が開催され(写真上)、山本幸一郎施設長を講師に、同施設から5名(フィリピン人)、同エリアのライフ・ステージ 舞夢から7名(フィリピン人)が参加しました。

介護職の役割として、権利擁護や虐待防止への理解を深めるため英語の資料を基に講義、ご利用者の行動事例を通して意見交換も行いました。

山本施設長はノーマライゼーション(*)の考えのもと、介護職に必要な心構えや目指すべき姿、職務の専門性について解説されました。

なお、コロナの5類移行に伴い5月19日、3年ぶりに「つぼみの会の交流会」が舞鶴グランドホテルで開催、26名が参加(写真下)。国籍を超え、お互い職場とは違う交流の機会になっています。



(*)ノーマライゼーション 高齢者や障がい者を排除するのではなく、健康者と同等に当たり前に生活できる社会を実現する。

令和4年度研修報告 (高齢者・障がい)

	研 修 名	エリア等
4月	ファーストステージ研修Ⅰ(大阪京都)	全体
	ファーストステージ研修Ⅱ(大阪)	大阪
5月	認知症ケア研究会(事例検討)	全体
6月	ファーストステージ研修Ⅱ(大阪)	大阪
7月	ファーストステージ研修Ⅱ(大阪)	大阪
8月	キャリアアップステージ研修Ⅰ	全体
	認知症ケア研究会(事例検討)	全体
9月	キャリアアップステージ研修Ⅰ(1回目)	全体
	キャリアアップステージ研修Ⅱ(2回目)	全体
10月	グローバル人材交流会	全体
11月	ネクストステージ研修Ⅲ	全体
	ファーストステージ研修Ⅱ(大阪)	大阪
12月	認知症ケア研究会(事例検討)	全体
1月	ファーストステージ研修Ⅱ	全体
2月	認知症ケア研究会(事例検討)	全体
	ネクストステージ研修Ⅲ(大阪京都)	全体
毎月	経営品質向上活動PJ会議	全体
随時	地域ニーズ調査委員会	エリア別

令和5年度研修計画(高齢者・障がい部門)

スタッフのキャリアパスに応じた研修テーマに関する中長期計画を立案し、一貫通貫の視点での研修育成活動を追求するため、人事システムガイドの基本的な担当職務・職務責任の要件に基づき、各職階層に求められるスキルの習得及びスタッフの就業意欲の向上を目指す。

研修名	対象者・期間	目 的 ・ 内 容
ファーストステージ研修Ⅰ・Ⅱ	入職1年未満の新任スタッフ ※Ⅰ：①主に新卒者 ②中途採用者対象 ※Ⅱ：年3～4回地域別で実施	・ 研修Ⅰ：福祉人・職業人・組織人としての在り方、求められる人材像、ビジネススキルの基礎、マナー、法人の各種取り組みへの理解等 ・ 研修Ⅱ：法人の仕組み、活動の基礎、人権擁護、リスクマネジメント、介護技術等
ファーストステージ研修Ⅲ	ファーストステージ研修Ⅰ・Ⅱの受講者 ※Ⅲ：各施設で設定	・ 研修Ⅲ：1年間を振り返り内省と成長の促進 2年目へのステップアップ
ネクストステージ研修Ⅰ～Ⅲ	概ね2年以上の経験のある者(先輩スタッフとして新任を育成・サポートする者)	OJTの主体者として育成に貢献できるスタッフ ・ 新任職員を指導するための教授法 ・ チームでの良好な関係構築や部下指導のためのコミュニケーションスキルの習得
キャリアアップステージ研修Ⅰ・Ⅱ	※Ⅰ：ネクストステージ研修修了者～6等級で役職に就いていない新任スタッフ育成担当者 ※Ⅱ：主任・係長・施設長が推薦するスタッフ	各等級に求められる課題分析手法や知識の習得 ・ 研修Ⅰ：チーム内における部下育成担当者としての役割認識、ファーストステージプログラムの仕組みの理解と評価。 ・ 研修Ⅱ：チャレンジシートの目的理解とチャレンジシートを用いた指導育成面談技法の実践
キャリアアップステージ研修Ⅲ	※Ⅲ：施設長・部長・課長	・ 研修Ⅲ：法人本部主導で設定した研修テーマ等に基づき、管理職としての資質・見識の向上

先輩からのメッセージ

河田 真衣
岩戸ホーム
2023年度入社



気持ちの切り替えを早くポジティブに
—自分のどんな所が
今の仕事に生きていると感じますか？
気持ちの切り替えの早いところが、介護の仕事に生きていると感じます。この仕事をしていると大変だと感じる事も多くありますが、その度に落ち込みを引きずって次に進めずにいるのは、ご利用者に対しても良いことではありません。気持ちを切り替え、ご利用者一人一人に寄り添うことを大事にして日々ポジティブに関わっています。

先輩スタッフのサポート、納得できる瞬間
—学生の皆さんにメッセージを
介護の仕事始めたばかりといふこともあり、ご利用者の対応に、自分自身にもどかしさや不安な気持ちになったりすることがありますが、必ず周りの先輩スタッフが手厚くサポートしてくれるので感謝しています。ご利用者から笑顔や優しい言葉をもらった時は、この仕事を選んで良かったと納得できる瞬間です。
やりがいのある仕事に就きたい方、介護の仕事に興味のある方は、ぜひチャレンジしてみてください。残りの学生生活も悔いのないよう楽しんで過ごしてくださいね。



白見 春菜
認定こども園千里丘愛育園
2023年度入社

子どもの笑顔を糧に誰にでも分け隔てなく接したい
—自分のどんな所が
今の仕事に生きていると感じますか？
誰にでも分け隔てなく丁寧に接するところが(私の)長所だと友人から教えてもらいました。選んだ仕事は人と深く関わる保育。周りには言葉ではまだ上手く表現できない子ども、家族や子育てに悩みを抱える保護者、一年目の私を気遣ってくださる先輩、それぞれの思いを受け止めながら保育者としての学びに追われています。私は音読や本読みが得意、子どもの反応や笑顔を糧にもっと楽しく聞いてもらえるよう工夫したいと考えています。

相談できる人の存在が頑張れる力に
—学生の皆さんにメッセージを
学校生活を楽しくしていますか？勉強、アルバイト、就活の悩み…なりたいた自分の将来像を信じて生活してください。
社会人になって3ヶ月余り、経験したことがない仕事で心が折れそうになったことも。それでも頑張れているのは家族や友人のお陰と感謝しています。相談できる人の存在や趣味があること、気分転換や頑張る大きな力にもなります。社会人になってからできることも増えましたが、自己責任も重くなります。少しだけみなさんの先輩として、今が充実した時間を送れるよう応援しています。

令和5年度研修計画(保育部門)

次世代の育成にも焦点をおき、主任、副主任、中堅リーダー等を対象にした研修を中心に企画。引き続き、公開保育等、法人内での各園の交流の場を育成につなげる研修会を設定。また、保育部門とコリスが協働で企画し、発達が気になる子どもに関する専門的知識の獲得に向けた研修会を実施する。

研修名	対象者・回数	内 容
愛育園 合同研修会	全スタッフ・年1回(新規採用者含む)	年度ごとにテーマを設定し、外部講師による講義等も含め、全園保育スタッフ及び新規採用者が参加する研修会の実施(参集型で検討)
保育基礎研修	新人～3年目程度(年1回・年度途中でフォロー)	各園の副主任・副主任や中堅リーダーが講師となり、①心得・マナー、②平常保育、③子どもの人権等をテーマにした研修会の実施
幹部研修	幹部(年1回)	理事長の想い・成光苑の理念や方針等、原点に帰することをねらいとして実施
安全管理研修	幹部もしくは全スタッフ	外部講師による研修。様々な事例を通して、危機管理意識を高め、事故防止に繋げる
人権保育研修	全スタッフ	外部講師による研修。子どもの人権擁護について意識を高め、自らの保育を振り返る機会とする
障がい児研修	全スタッフ	コリスと連携し、障がい児の個々のニーズに対応できる専門的知識・対応方法(小集団保育)等の獲得
給食試食会(※園単位で実施)	給食担当者・保育スタッフ	給食スタッフの交流・情報交換を通したスキルアップ及び保育スタッフとの連携を強化し、各園における食育の向上を図る
公開保育(※園単位で実施)	各園で調整	法人内の姉妹園の教育・保育現場を見学し、双方が自園の保育を見直す機会とする。リズム研修含む。
地域子育て支援対策委員会	各園子育て支援担当者・コリス	各園の地域子育て支援事業の充実のための協働活動を実施。コリスも参画し、地域の子育て中の家庭に対する情報発信として育児に関連する動画等を配信
給食担当者会議	給食担当者(エリア別・全体会)	子どもへの食事の提供の充実のため献立等の共有や試食会の機会を確保するとともに、給食担当者の衛生管理体制の確認及び業務の効率化の検討等を行う
保育基礎研修実行委員会	副主任/副主任、中堅リーダー等年3回程度	保育基礎研修をはじめとし、保育部門の育成体制の構築に係る事項の検討を進める
ICT(コドモン)情報交換会	保育業務支援システム・コドモンを効果的に使用できるように担当者が情報交換する	
主任・主幹会議	主任/主幹・年6回程度	部下指導をメインテーマとし、中堅リーダーの育成について、情報交換や勉強会を実施予定
園長検討会	全園長・年3回程度	管理者として情報共有を図り、改善に向けた検討を行う
定例園長会	全園長・年6回(偶数月)	内部コミュニケーションの強化及び保育サービスの質の向上等を図る

寸劇を交え保育現場をリアルに 1～3年目の若いスタッフ対象に保育基礎研修



新年度スタート直後の早い機会に実施の同研修は、若い保育スタッフの不安や悩みを共有し、チームとしての社会性を身に付けてもらう狙い。受講者からは「グループワークで他園スタッフと意見交換できてよかった(写真)」 「寸劇はリアルで理解しやすかった」などの声が聞かれました。

プールシーズンを控え 緊張感をもって子どもたちの事故・怪我を防ごう! スイミング研修

保育部門(北摂エリア)ではプールシーズン控え5月20日、千里丘スポーツプラザでスイミング研修が行われ、初受講の保育スタッフ7名を含む計13名が同プラザコーチの指導を受けました。

経験者はバタ足の足首の使い方など具体的なテクニック指導を、初めてのスタッフは水泳ヘルパー(補助具)の固定方法の注意点、人数確認、プールサイドの危険などの基本的な補助方法と安全配慮が重点。受講した保育スタッフからは「少しの油断も事故・怪我に繋がるので緊張感をもって子どもたちを指導したい」と意気込みも聞かれました。

バチの持ち方、股割は… 和太鼓研修 認定こども園正雀愛育園の保育スタッフ

認定こども園正雀愛育園では6月10日、幼児マーチング・器楽合奏・和太鼓インストラクターの福永義照氏(写真左)を講師に迎え、和太鼓研修を行いました。

同園の和太鼓指導(4.5歳児対象)は“ナンバーワン”の保育カリキュラムになっていますが、今回はバチの持ち方、股割、簡単なリズム打ちを通して、全保育スタッフが叩き方の基礎や指導のポイントを一日かけて学びました。

コロナの5類移行に伴い、地域イベントへ参加も決まっています。日本文化の和太鼓演奏を伝承しながら、子どもたちと共に楽しんで取り組みたいと考えています。



令和4年度研修報告 (保育)

	研 修 名	参加者
4月	定例園長会①	経営者
	園長検討会①	経営者
	保育基礎研修実行委員会①	指導者
5月	子育て支援対策会議①	指導者
	スイミング研修	初任者
6月	定例園長会・園長検討会②	経営者
7月	主任主幹会議①	指導者
	子育て支援対策会議②	担当者
8月	保育基礎研修	指導者
	定例園長会③	経営者
9月	園長検討会③	経営者
	主任主幹会議②	指導者
10月	給食担当者会議①	担当者
	定例園長会・園長検討会④	経営者
11月	コードモン情報交換会	担当者
	保育基礎研修実行委員会③	指導者
12月	給食担当者会議②	担当者
	安全管理研修	全職位
1月	定例園長会・園長検討会⑤	経営者
	主任主幹会議③	指導者
2月	子育て支援対策会議③	担当者
	保育基礎研修実行委員会④	指導者
3月	保育基礎研修	全職位
	リズム研修 ※年累計	全職位
巡回	漢字研修 ※年累計	全職位
	障がい児保育研修(小集団保育)	担当者
随時	公開保育	全職位
	給食試食会	担当者

「いこい庵」にパン屋とスパイスカレー屋お目見え

ご入居者、地域のみなさんに好評
岩戸ホームの多目的施設

岩戸ホームに隣接する“いこい庵”（入居者家族の宿泊設備も完備した多目的施設）が4月から使用を再開、現在2つの飲食店の人気メニューがご入居者、スタッフ、地域のみなさんの食のトレンドになっています。

①パン屋

「NICOときどきMUKU（通称：ニコパン）」販売：毎週水曜11時半～13時（売り切れ御免）。

同施設の調理室で約10種類のパンを焼き上げ「喫茶ひだまり」（地域交流スペース内）で販売しています。人気のあんパンや、動物由来の食材を使用しないヴィーガンパンも販売するなど体調や食事制限が気になる方にも好評、種類のリクエストにも応じてくれます。「おやつに楽しみ」と行列ができる賑わいです。



②スパイスカレー屋

「ONE FINE DAY」提供：不定期
カウンターテーブルにはスパイスの小瓶が陳列演出され、本格的なスパイスカレーはスパイスチキン、キーマ（挽肉）、ベジタブル（野菜）の2種を選ぶあいかけも楽しめます。このところご利用者には最も刺激的なスパイスチキンが一番人気で“やみつき”の方も。ハンドドリップコーヒーやローズスイーツ（小麦・卵・白砂糖不使用など）も販売、カフェタイムだけでも来店可能です。テイクアウトも可能で、テイクアウト用容器を持参することで100円引きと“ゼロ・ウェイスト”（できるだけ廃棄物を減らそうとする活動）もコンセプトです。



「野菜あります」が目印
ヘルパーステーション前の一角に無人農作物直売所

サンヒルズ紫豊館

サンヒルズ紫豊館（福地山市）のヘルパーステーション前の一角に無人農作物直売所がお目見え、新鮮野菜を並べ大人気です。同施設のヘルパースタッフが地元



の農家と連携し設けたもので、鮮度・美味しさ・安さが口コミで広がっています。複数のスタッフが生産者と顔なじみになったのがきっかけ。「野菜あります」の看板が目印、旬の野菜を中心に20品がほぼ毎日（農繁期：午前7時半～）並べられ、日勤帯はもちろん、夜勤明けのスタッフの買い物にも便利（写真）。生産者からは「こんな野菜もあるけど…」などと提案されることも。地域の活性化にひと役買っています。

ご利用者が育てた野菜を無人販売
ココリスへの理解深める

さやえんどう、そら豆はいかが

ココリス（障がい福祉サービス：大阪エリア）の畑で、ご利用者が春先に種を蒔き、無農薬で育てた“さやえんどう”と“そら豆”が収穫時期を迎え、5月からは駐車場入り口付近で、収穫量に応じて無人販売を始めました。

通りがかりの地域の方から「みんな（ご利用者）で作ったの?」「昨日は売り切れだったなあ」と感心したり期待の声も聞かれます。

同施設の活動を知ってもらい、地域交流やノーマライゼーションへの理解を深めるきっかけになればと考えています。今後は夏野菜（キュウリ、ピーマン、ミニトマトなど）の販売も予定しています。お楽しみに!



【交通弱者の移動支援の取り組み】
【民生委員等との連携】
【居住支援法人としての認可】
【自治会活動へのスタッフ派遣】

令和4年度地域
貢献活動報告

【親子教室での年齢に応じた遊びの提供】
【妊産婦への支援】
【公民館を利用した地域での制作活動】
【近隣の高齢者を招待した行事の開催】

高 齢 者 ・ 障 が い	保 育 部 門 ※一部、児童発達支援含む
【地域に焦点を当てた事業展開】	
・ 交通弱者の移動支援の取り組み（過疎地域有償運送）の運行（4往復/日） 延べ利用者数：1193名（前年度比約100名増）（内、地域利用668名：前年度比約80名増） ・ 福祉有償運送（移動困難者に対して安価での移動支援）の運行 ・ 地域行事への積極的な参加及び地域との共催による行事の実施（夏祭り・花火大会） ・ リハビリ機器の地域への開放は、一部受け入れ ・ 地域交流スペースの喫茶は席の配置等を考慮し開放 ・ エリア別での地域ニーズ調査委員会の継続的な開催	・ 親子教室での年齢に応じた遊びの提供（製作、リズム、絵本の読み聞かせ等） ・ 各園の保育室、園庭、絵本室等の開放、絵本の貸出 ・ 園の季節の行事への招待及び地域の親子を対象とした独自のイベント開催 ・ 赤ちゃんの駅（おむつ替えや授乳ができる施設）の登録 ・ 妊産婦への支援
【地域における福祉推進】	
・ 施設における地域の総合相談窓口の設置及びその周知 ・ 認知症あんしんサポート相談窓口、認知症カフェ等開設 ・ 相談援助活動へのスタッフ派遣及び介護相談会の実施 ・ 民生委員等との連携（交流勉強会への参加等） ・ 介護職員初任者研修事業の講師派遣（京都） ・ 外部主催の認知症サポーター養成研修をはじめとする認知症関連研修への講師派遣 ・ 農閑期の閉じこもり防止を目的としたサロン活動の実施 ・ 高齢者のボランティア支援とボランティア担当者のレベルアップ ・ 認知症サポーターキッズ養成講座の開講 ・ 「小中学生対象：次世代の担い手育成事業（出前授業：オンライン）」や小中学生の職場体験及び社会福祉体験学習等の受入 ・ ことば110番運動への参画 ・ 介護、看護、相談援助等の専門職実習生の受入 ・ 子ども食堂ネットワーク会議に参加（子ども食堂の実施はコロナ禍のため中止）	・ 育児相談の一環として地域の保護者向けに、子どもの健康やふれあい遊び、絵本に関する情報を掲載した通信を自主作成し無料配布 ・ コロナ禍でも育児に係る情報（育児に係る悩みへの対応、手作り玩具等）を家庭でも知ることができるようYouTubeで発信及びホームページへのアップ【新規】 ・ 育児相談員およびスマイルサポーター（大阪府知事認定）による育児相談窓口の設置（来所・電話等） ・ 保育士等による専門性を活かした講座の開催 ・ 地域の子育て支援担当者間の情報交換会への参画 ・ 公民館を利用した地域での制作活動 ・ 一人暮らし高齢者宅の訪問（七夕飾り等の宅配） ・ 保育士養成校からの保育士養成実習の受入 ・ 近隣の高齢者を招待した行事の開催
【社会的援護を要する人々への支援】	
・ 生活困窮者自立支援法に基づく中間的就労の受入（実績は0名） ・ 協力雇用主制度による刑務所出所者の雇用に向け協力雇用主として登録（実績は0名） ・ 高齢者世帯及び生活困窮母子家庭世帯への配食サービス及び安否確認 ・ 生活課題を抱える家庭の緊急受入支援（サポートハウス） ・ 社会福祉法人等利用者負担軽減制度、特別地域加算減免事業、通所サービスの食費負担軽減の実施 ・ 地域の高齢者からの通報への対応（24時間365日）	・ 日本財団「夢の貯金箱」（自動販売機の飲料売り上げのうち10円を寄付）の全施設設置 ・ 大阪しあわせネットワークへの参画・基金への拠出及び大阪全施設にCSWを配置。 ・ 京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」への参画（基金への拠出等） ・ 障がい者職場体験実習の受入及び雇用の促進（新規1名雇用） ・ 市主催のフードバンク支援への参画 ・ 住居確保配慮者への支援として吹田市居住支援協議会への参画と居住支援法人としての認可【新規】
【国際交流】	
・ 雇用する在日外国人スタッフへの日本語勉強会（つばみの会）等の実施 ・ 地域の在日外国人（フィリピン）の雇用及び住居の整備等 ・ 外国人人材の資格取得支援対策講座の開講 ・ 在日外国人への各種資格取得や交付金の申請に係る手続きの支援・代行 ・ グローバル介護職員初任者研修の開催 ・ 介護技能実習生、特定技能のスタッフの受け入れにあたる関連機関との連携強化等 ・ 国際経済における人的交流の研究協力（龍谷大学、フィリピン大学、エジンバラ大学等）	・ 多国籍の子ども・保護者とのコミュニケーション支援 ・ 異文化交流を目的とした近隣の小学校等との連携はコロナ禍のため中止
【地域団体などとの連携の取り組み】	
・ 地区の福祉推進協議会や施設・事業者連絡協議会等への参加による地域連携強化・スタッフ派遣 ・ 地区の福祉推進協議会や地域貢献委員会等への参画 ・ 自治会活動へのスタッフ派遣 ・ 地域のイベントへの参画（作品展への出展等）	・ 地域の老人会・民生委員・主任児童委員・自治会長等との連携（イベント等はコロナのため中止） ・ 中学校区における地域教育協議会への参画
【災害支援・環境対策】	
・ 自治会等地域との防災協定の締結（総合防災訓練はコロナのため中止） ・ FM舞鶴と提携し、送受信設備の施設敷地内の設置及び災害発生時の被害情報提供体制の確立（対象事例無し） ・ 5法人間での防災協定の締結 ・ 地域の福祉避難所としての指定、防災倉庫の設置等災害発生時のネットワークの構築 ・ 大阪府・京都府災害派遣福祉チーム員（DWAT）への登録 ・ 感染症発生時における職員の相互応援に関する協定に係る派遣職員候補者の登録 ・ 地域の清掃活動への参画 ・ 地域小学校との連携による環境支援活動	・ 5法人間での防災協定の締結 ・ 近隣の草抜き・清掃活動への参加 ・ 牛乳パック、ベルマーク、エコキャップ運動の実施 ・ グリーンカーテンの栽培 ・ 全園における節電活動 ・ エコ育の更なる充実 ・ 日本赤十字共同募金への募金
【独自の取り組み】	
・ 京都府高齢者あんしんサポートハウス（低所得者に対応した家賃設定）の運営 ・ 外国人介護人材発掘のための関連機関との検討会等の実施 ・ ミニコンビニエンスストアの設置・運営 ・ 地元企業と協働した施設利用者の活動プログラム（商福連携）の実施【新規】	・ 地域の待機児解消に向けた事業展開の検討（増築等による定員増

4年ぶりの「せつつしこどもフェスティバル」に参加
認定こども園一津屋愛育園の保育スタッフ

あつという間になくなった！
特製マラカス、紙皿フリスビー

認定こども園一津屋愛育園の保育スタッフは5月14日、4年ぶりに開催された「令和5年度せつつしこどもフェスティバル」（摂津市教育委員会主催）に出展参加しました。

同スタッフが用意したのは、小型飲料水の空き容器に小豆を入れたマラカスと紙皿フリスビーの2種類の手作り玩具。多くの親子連れが遊びに来られ、なんと開始1時間ですべてなくなり、紙皿フリスビーを追加する大盛況でした（写真）。次回は、もっとたくさんの親子に楽しんでもらえるよう輪投げゲームなどの新コーナーも検討しています。



紫陽花まつりに初参加
東生野愛育園の5歳児

東生野愛育園の5歳児（22名）は6月18日、生野区民センターリゲッタIKUNOホールで行われた令和5年度生野区紫陽花まつり（生野区主催）に初参加しました。舞踊、フラダンス、手話歌などの団体による舞台発表や多文化交流もあり、幅広い年代層が参加する活気あふれるイベントです。

同園児たちは「いくのニューおどりオフィシャル隊」の団体名で、生野区オリジナルのよさこい踊りを披露。初めは「みんなの前で恥ずかしい」の声もなんのその、ステージに上がると「ソイヤッ!ソイヤッ!」と掛け声も高らかに全力で踊ることができました。「よい経験をさせてもらい自信がついたかな」と子どもたちの成長を喜ばれる保護者の声も聞かれました。



「ソイヤッ!ソイヤッ!」の掛け声高く
オリジナルよさこい踊り

令和5年度 事業計画

コロナ感染予防の規制緩和の影響を見極め、ご利用者のご家族、スタッフの安全・安心を確保するため一刻も早くコロナ禍前の施設経営に戻す努力を実践

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 1.財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
・経営企画会議・園長検討会の運営による法人の各部門の経営状況に応じた対策及び財務状況の安定を図るための経営分析の実施
・会計監査人や行政などの法定監査受審による適正かつ継続的な改善を担保するコンプライアンス的 組織の維持・強化
- 2.人事・給与管理体制等の強化
・各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
・保育部門における園長に対する園長評価の実施
- 3.ICT化・DX化の促進
・全部門におけるICT化の推進のためのハード面の充実(タブレット等の追加購入等)や介護部門におけるケアパレットの導入及び保育部門におけるゴドモンのさらなる活用
・電子帳簿保存法・インボイス制度施行への対応による経理DXの取組みの推進
- 4.事業の継続に向けた体制整備
・高齢・障がい部門におけるBCP(業務継続計画)の策定を機に、災害・感染症等の緊急時でも平常時対応が可能な業務の追求。保育部門におけるBCPの新規作成。
・公的助成制度を有効に活用した効果的・効率的な事業展開により即時対応することで、収支バランスを安定させ、継続的な事業運営を図る
- 5.適正な情報開示による経営の透明性の確保
・ホームページ、広報誌、WAM等による情報の適正開示(現況報告書・総括表、法人全体の事業報告・事業計画、財産目録、監査報告書、予算書・決算書、地域貢献活動状況等の各種活動状況等)
- 6.法人本部体制の強化
・社会福祉法に則り、法人本部として持続可能な体制整備(保育・高齢・障がい部門)を図りながら取り組むことで、子どもから高齢・障がいを持つ全ての世代に亘るご利用者や地域の人々に対する社会福祉事業を展開する主たる担い手としての説明責任を果たせるよう、地域共生社会の一員として地域貢献できる法人の在り方を追求する

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- 1.法人理念の周知の徹底
・全部門における理念に冊子化した「和顔愛語」第2版に基づく浸透度、実践度の測定
- 2.地域の福祉ニーズに対応したサービス事業の展開
- 3.研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より最新で専門性の高いサービス展開の追求
・成光苑介護マニュアル「はじめの第一歩」の改訂(動画マニュアルの作成)
・愛育園保育マニュアルの改訂
- 4.提供するサービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
・外部・内務監査における受審状況及び評価結果の確認
・上記評価結果に基づく改善計画等の作成に向けた情報分析及び検証
- 5.緊急時・非常災害時の組織体制整備【重点】
・保育部門におけるBCPの作成に向けた検討
- 6.リスク管理体制の整備【重点】
・高齢障がい部門の部署別の事故報告分析体制の強化
・保育部門における園児の取り残し防止への対策
- 7.全部門における不適切な対応や虐待防止に関する体制の強化
・保育部門における不適切保育が発生しないための体制構築、マニュアル作成
・障がい部門における法人内統一のマニュアルの作成及び高齢者・障がい部門における成光苑虐待防止マニュアルの確実な運用及び
- 8.部門間連携の強化による総合的なサービスの提供【重点】
・高齢・障がい部門の情報共有及び連携強化による総合的な支援ができる体制の構築
・保育部門とココリスの連携の強化(在園児の保護者支援や発達が気になる子どもへの保育の充実、保育部門の地域子育て支援対策委員会へのココリスの参加等)

3. 人財確保と育成・定着

- 人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
- 1.労働環境改善のための活動を助長することにより人財の確保・定着につなげる
・福利厚生等の充実及び障害者雇用、定年延長等に対応できる体制整備を含む
- 2.SNSの活用等、求人活動内容全般を見直し、人財の確保につなげる
・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等の充実等
- 3.各種関係機関との関係構築し、優秀な実習生等を雇用へとつなげる取り組み
- 4.次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
・幹部研修の実施等、キャリアパス・ステップアップを具現化できる研修・組織体制の充実
- 5.高齢者・障がい部門における職員の意識調査等の結果に基づく、改善計画の策定及び実践
- 6.保育部門における人事システムの構築に向けた検討
- 7.高齢者・障がい部門における他法人との交流による研究発表会(第18回)の開催
- 8.キャリアアップ助成金(正社員化コース等)の申請
・有期雇用労働者、短時間労働者、派遣労働者のキャリアアップを促進として、正社員化コース(労働局)等の申請を継続して実施。

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- 社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図る
- 1.地域の福祉ニーズへの対応
・全国・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
・生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出
大阪:「大阪しあわせネットワーク」
京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
・地域の社会的援護を要する人々への支援
- 2.各部門の種別を超えた連携による総合相談窓口設置
・全国・全施設における地域の総合相談事業の展開
・高齢者・障がい部門全施設における潜在顧客調査委員会による地域ニーズの把握
- 3.災害発生時の継続的な支援が可能となる体制の構築
・365日24時間稼働する社会福祉施設の特性を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄等を踏まえた業務継続計画(BCP)の高齢者部門全施設で策定
・スタッフの派遣・義援金の寄付等の活動を推進する
・災害派遣福祉チーム(DWAT)への参画(大阪・京都で派遣スタッフを選出、充実を図る)
- 4.地域子育て支援に関する事業の充実
・手作りおもちゃなど、子育てに関する動画を作成・配信し、支援の充実を図る。
- 5.居住支援法人としての活動の展開

令和4年度 事業報告

コロナ禍対応に全力を傾注する一方、高齢者と障がい者の地域共生型総合福祉施設を開設、誰一人取り残すことなく支援できる体制構築を確認した1年

1. 確実、効果的かつ適正な事業経営

- 1.財務管理の体制強化(経営状況の把握、分析)
・園長検討会(年6回)・経営企画会議の運営(年5回)において、コロナ禍や物価高騰が続く中での対応を継続しながら取得できる加算及び公的助成制度の積極的活用の精査検討に努めた。
- 2.人事・給与管理体制等の強化
・各部門における人事・給与システムの整備充実による管理体制の強化
・高齢者部門施設長評価及び状況に応じた保育部門における園長に対する理事長面談の実施
- 3.業務の効率化に向けた体制の検討
・各部門におけるICT化の推進による業務の効率化
→高齢・障がい部門…訪問介護支援ソフト(ケアパレット)・全館対応WiFi設備・インカム・離床センサー・PHSを各部署に設置等
→保育部門…ゴドモンの導入
・法人ネットワークのクラウド化による各部門業務の効率化の追求(イニシエーターの運用)
- 4.適正な情報開示による経営の透明性の確保
・ホームページ及び法人広報誌「ききょう」の発行(年3回)における法人情報の公開
・第三者評価受審及び結果の開示(各施設のホームページ等から結果公表)
- ・福祉医療機構「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」を利用した情報開示等
- 5.新規事業及び・効率的な経営のための事業変更等
・第二愛育園・きりん夜間愛育園の合併による認定こども園 きりん愛育園の開設
・くるみ愛育園の園舎増築により、幼児の受入開始
・一津屋愛育園隣地を買い取り、園庭拡張、第二ココリスの開設等について検討(次年度以降に繰り越し)
・地域共生型総合福祉施設として、ライフ・ステージ 夢咲の新規開設(令和4年5月開所)
・せつつ桜苑訪問介護ときりんヘルパーステーションの統合に向けた準備(令和5年4月統合)
- 7.高齢者・障がい部門における経営品質向上活動の展開
・日本経営品質賞の要求事項が記載された「顧客価値経営ガイドライン」に則して、成光苑の「ありがたい姿」について再検討し、農福連携の活動の展開につなげた。
- 8.障がい部門におけるISO9001システムの導入
・ライフ・ステージ 夢咲におけるISO9001認証取得(令和6年5月予定)に向けた準備のため継続的にISO事務局会議に参加

2. 福祉サービスの向上に向けた活動

- 1.法人理念等の周知の徹底及び冊子化した「和顔愛語」第2版の全職員への周知
- 2.地域の福祉ニーズ及び個々の心身状態に対応したサービスの提供
・部門間連携を強化することによる、サービスの質の向上
→介護・障がい部門の連携強化(ライフ・ステージ夢咲におけるサービス提供等)
→保育部門とココリスの連携強化による保育内容の見直し、研修の実施等
・保育部門における使用済みオムツの持ち帰り廃止
- 3.研修・マニュアル等の内容を適宜見直し、より専門性の高いサービス展開を追求する
- 4.サービスの外部監査(評価)の受審や内部監査の実施による評価・確認体制の整備
- 5.緊急時・非常災害時の組織体制整備
・防犯や非常災害時を想定した業務継続計画(BCP)の策定に向けた策定の進捗管理(高齢者・障がい部門)と、保育施設における次年度以降の策定努力義務化の周知
・各施設における新型コロナウイルス感染拡大防止対策マニュアルの作成及び人員等体制の充実
- 6.リスク管理体制の整備
・保育部門にもおける園児の取り残し防止のための体制の再検討
・高齢者・障がい部門の全施設における部署別の事故報告分析の実施
- 7.全部門における不適切な対応と虐待防止に向けた体制整備
・保育部門における不適切な保育が発生しないための人権擁護チェックや人権保育研修等の実施
・高齢者・障がい部門における虐待防止マニュアルの確実な運用と防止策・発生時の体制整備
- 8.高齢者全施設における認知症ケアの充実のための体制整備
・認知症ケア研究会の活動の集大成として、「BPSD別に見る認知症ケア実践」を刊行・配布し、各施設の活動につなげ、認知症ケアの専門性を高めた。
- 9.全部門における顧客満足度調査の実施
・調査結果に基づき、改善策を立案するとともに顧客へのフィードバックを実施。
- 10.法人内他部門との連携強化
・法人内各部門及びその他外部関連機関と連携した総合的サービスの提供。

3. 人財確保と育成・定着

- 人財確保及び育成体制等の充実や労働環境の整備に関する総合的・中長期的な視点での活動の展開
- 正規スタッフ採用者数(令和4年4月1日～令和5年3月31日の新卒者等の正規採用者)
- | | 四大卒 | 短大・専門卒 | 高卒 | 一般 | 合 計 |
|---------|-----|--------|----|----|-----|
| 保育 | 2 | 6 | 0 | 1 | 9 |
| 高齢者・障がい | 3 | 4 | 2 | 27 | 36 |
| 合 計 | 5 | 10 | 2 | 28 | 45 |
- 1.処遇・労働環境改善の取組
・育児休業制度の改正に伴う就業規則・育児介護休業に係る規則の改訂
・部門別に離職率を算出
→介護・障がい部門:昨年度比+1.1% 保育部門:昨年度比+5.8%
- 2.法人として求人活動内容全般の見直し【重点】
・人財確保に有効なホームページ・SNS・パンフレット等を活用した求人活動(保育部門:採用を目的としたPR動画の作成、Instagramの導入/高齢者部門:Facebookの導入、採用PR動画の作成、ZOOM等を利用した説明会の実施)
- ・各種関係機関との関係構築、就職フェアへの参加
- 3.優秀な実習生等を雇用へとつなげる取り組みの充実
・実習生アンケートの実施や学校関係者への訪問等の強化
- 4.次世代を担う幹部やスタッフの育成体制の強化
- 5.高齢者・障がい部門における外国人労働者の受入・育成体制の整備
・グローバル人財PJを編成し、京都・大阪エリア合同で外国人スタッフの交流会(テーマ設定をした発表会)を実施(10月)。

エリア	種別	人数	国 籍	エリア	種別	人数	国 籍
大阪	特定技能	2名	ベトナム	京都	技能実習生	9名	ベトナム
	留学生	2名	ベトナム		特定技能	6名	ベトナム
	正規雇用	3名	ベトナム		特定技能	8名	フィリピン
	非常勤	1名	ベトナム		合計：31名		

4. 法人の特性を踏まえた取り組み

- コロナ禍においても、社会福祉法人としての使命を果たすため、各施設における地域貢献事業をより活性化させ、地域における公益的な取組みのさらなる充実・展開を図った
- 1.地域の福祉ニーズへの対応
・全国・全施設における地域における公益的取組みの充実と更なる展開
・地域貢献事業推進担当者の設置等の体制整備による内容の充実化
・生活困窮者にかかる支援体制への参画及び基金への提出
大阪:「大阪しあわせネットワーク」
京都:京都地域福祉創生事業「わかプロジェクト」
・地域の社会的援護を要する人々への支援
- 大阪:「協力雇用主」制度による刑務所出所者の雇用の準備フォロー
・障害者雇用の促進(障がい者5名(常用:1名、短時間:3名、特定短時間:1名)を新規雇用)
- 2.災害・感染症発生時の継続的な支援が可能となる体制
・365日24時間稼働する社会福祉施設の特性を活かし、福祉避難所の整備と物資の備蓄や緊急時の応援スタッフ派遣の登録等の活動を推進した
- 3.各施設の総合相談窓口設置における地域相談事業の展開
・保育・高齢者・障がい各部門の種別を超えた連携による地域の相談窓口機能の強化

きりんデイサービスセンターの長濱係長が講演
摂津市民生委員児童委員協議会総会

認知症受診の目安は？
地域福祉協力の一環

令和5年度摂津市民生委員児童委員協議会総会が4月24日、摂津市コミュニティープラザで開かれ、きりんデイサービスセンター（認知症対応型）管理者の長濱葉子係長が「認知症の方との関わり方について（受診の目安）」をテーマに講演しました（写真）。摂津市健康福祉課から依頼を受け、地域福祉への協力の一環。民生委員・児童委員計92名が参加されました。

同委員のみなさんは、日頃から地域住民の立場に立って、住民からの生活上の心配ごとや困りごと、医療や介護、子育ての不安などの相談に応じ、その課題解決のため、行政や関係機関への「つなぎ役」を担っておられます。特に民生委員の方は高齢者世帯（一人暮らし含む）への訪問があり、このテーマに沿った内容となりました。

認知症は加齢とともにリスクも上がる病気とされていますが、長濱係長は、MCI（軽度認知障害）と呼ばれる認知症の手前の方や一人暮らしなどで医療機関に掛かかっていない“かくれ認知症患者”の存在に言及。受診の目安として、計算能力が低下し必要な小銭（貨幣）が揃えにくくなりお札（紙幣）ばかりを使う、同じものを何度も買って来るなどの行動が目立つ場合は認知症が疑われると指摘されました。

適度な運動やゲームなどで頭を使うこと、人と交流し趣味を楽しむことも予防の一つと説明。実際の介護現場でのハンカチを使ったレクリエーションの実践も披露、多くの方が傾きながら熱心にメモを取られていました。



大阪DWATとの連携体制構築
池田市防災訓練に参加
吹田竜ヶ池ホームの尾園生活相談員

吹田竜ヶ池ホームの尾園洋平生活相談員（写真左）は、DWAT（＊）豊能圏域チームの一員として、池田市防災訓練（池田市危機管理課主催）に参加しました（3月17日）。

池田市災害対策本部職員30名、DWAT豊能圏域チーム員12名が参加、池田市地域防災計画に位置づけられている避難行動要支援者支援体制整備の一環として、同市と大阪DWAT（大阪府災害派遣福祉チーム）との連携体制の構築を図ることに重点が置かれました。訓練では避難所運営や大阪DWATの活動紹介、池田市職員とDWATチーム員で「避難所ラウンドアセスメント」（要配慮者聞き取りロールプレイ）やグループに分かれて意見交換が行われました。平時から防災・減災意識を持ち日々取り組むことが重要であると再認識しました。



（＊）DWAT Disaster Welfare Assistance Teamの略 災害福祉支援チーム 災害時の二次被害を防ぐため、一般避難所や福祉避難所などで配慮が必要な方に対し福祉支援を行う専門職チーム。

「幸せなら手をたたこう」
近隣の高齢者住宅を訪問し世代間交流
認定こども園きりん愛育園の5歳児

認定こども園きりん愛育園の5歳児クラス（虹組26名）は5月12日、近隣の高齢者向けサービス付き住宅「ウエリスオリーヴ吹田千里丘」を訪問し、世代間交流を楽しみました。

お出迎えの看板も掲示され、ご入居者は園児の到着をお待ちかね。コロナの5類移行後間もないため、ビニールパーティション越しとなりましたが、園児は「こいのぼり」や「虹」の歌を披露（写真）、ご入居者と一緒に「幸せなら手をたたこう」の触れ合い遊びも楽しみ、「みんな上手!」とお褒めの言葉もたくさんもらい子どもたちは満足そう。手づくりペンダントをプレゼントしました。



「らくゆう」の高齢者の集いに参加
くるみ愛育園とくるみ小規模保育園の園児たち



くるみ愛育園（2歳児、5歳児）とくるみ小規模保育園（2歳児）の園児計19名が5月24日、大阪市立小路小学校多目的室で開かれた小路サロン「らくゆう」（生野区小路まちづくり協議会主催）に参加しました。「らくゆう」は毎月第4木曜に定期開催される地域の高齢者の集い。コロナ禍でこれまで休止やオンラインでしたが、ようやく直接対面となりました。

カラフルなオーガンジー生地の布を振りながら（写真）、わらべうた「ずくぼんじょ」（佐賀県の方言でつくし）でふれあい遊び、目を細め楽しめる高齢者の優しい表情が印象的でした。

手づくり離乳食の試食会など
くるみ小規模保育園

くるみ小規模保育園は5月20日、園の取り組みを子育てのヒントにしてみようと、親子で「保育参加」（＊）を実施し保護者11名が参加、クラスごとの遊び体験と手作り離乳食の試食会を行いました。

0.1歳児クラスはわらべ歌で触れ合い遊び。「わらべ歌は初めて」というお母さんも、ゆったり曲調に合わせて楽しめました（写真）。2歳児クラスは絵本の読み聞かせとストローと傘袋を使った制作。傘袋に描く絵（自由画）に保護者も夢中。離乳食の試食会では市販のベビーフードとの違い（味、形状など）を体験してもらい、保護者から「美味しさや子どもの成長にもよいので、すべて手づくりは無理でも頑張ってみたい!」という感想も聞かれました。

（＊）保育参加 保育参観が普段の様子を見ることに重点が置かれているのに対し、保護者が実際に保育士と同じ事を体験する。



「保育参加」子育てのヒントに！

令和4年度 決算報告

【資金収支計算書】

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日 単位:百万円

勘定科目		本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計
事業活動収支	収入	14	1,440	3,938	160	△9	5,543
	支出	84	1,280	3,633	116	△9	5,104
事業活動資金収支差額		△71	160	305	44	0	438
施設整備等収支	収入	0	3	765	0	0	768
	支出	3	42	354	39	0	438
施設整備等資金収支差額		△3	△39	411	△39	0	330
その他の活動収支	収入	70	88	104	6	△232	36
	支出	1	198	184	19	△232	170
その他の活動資金収支差額		69	△110	△80	△13	0	△134
当期資金収支差額合計		△5	11	637	△8	0	635
前期末支払資金残高		463	199	920	67	0	1,649
当期末支払資金残高		458	210	1,557	59	0	2,284

（保育は認定こども園を含む）

【貸借対照表】 成光苑全施設（社会福祉事業・公益事業・収益事業）
令和5年3月31日現在 単位：百万円

勘定科目		勘定科目	
科 目	金額	科 目	金額
流動資産	2,702	流動負債	734
		うち1年以内借入金・賞与引当金	316
固定資産（基本財産）	6,948	固定負債	2,241
その他の固定資産	3,512	負債合計	2,975
		純資産の部	
		基本金	609
		国庫補助金等特別積立金	2,624
		その他の積立金	1,121
		次期繰越活動収支差額	5,832
資産合計	13,161	純資産合計	13,161

【事業活動収支計算書】

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日 単位:百万円

勘定科目		本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計
サービス活動収支	収益	1	1,412	3,909	150	0	5,472
	費用	38	1,314	3,911	151	△9	5,405
サービス活動増減差額		△37	98	△2	△1	9	67
サービス活動外収支	収益	12	29	32	10	△9	74
	費用	50	14	19	5	0	88
サービス活動外収支差額		△38	15	13	5	△9	△15
経常増減差額		△75	113	11	4	0	52
特別収支	収益	69	410	125	0	△562	42
	費用	0	446	151	10	△562	45
特別増減差額		69	△36	△26	△10	0	△3
当期活動増減差額合計		△6	77	△15	△6	0	49
前期繰越活動収支差額		636	831	4,351	59	0	5,878
その他の積立金取崩額		0	9	0	0	0	9
その他の積立金積立額		0	77	27	0	0	104
次期繰越活動収支差額		630	841	4,309	53	0	5,832

（保育は認定こども園を含む）

成光苑事業区分

- 社会福祉事業
（本部）
本部、地域貢献事業
（保育事業）
千里丘愛育園、きりん愛育園、正雀愛育園、
一津屋愛育園、くるみ愛育園、東生野愛育園
くるみ小規模保育園
（介護事業）
岩戸ホーム、サンヒルズ紫豊館、せつつ桜苑、
高槻けやきの郷、吹田竜ヶ池ホーム、ライフ・ステージ舞夢
ライフ・ステージ夢咲
厚デイサービスセンター、きりんデイサービスセンター
きりんヘルパーステーション、加佐デイサービスセンター
寿みのりの郷デイサービスセンター、デイ・ホーム和夢
（障がい福祉事業）
ココロス、ライフ・ステージ夢咲
- 公益事業
高優賃 竜ヶ池ハウス、サ高住けやきの郷、岩戸診療所、
桜苑診療所、けやき診療所、竜ヶ池診療所
- 収益事業
北比良

令和5年度 資金収支予算

【資金収支計算書】

成光苑全施設（社会福祉事業・公益事業・収益事業） 単位:百万円

勘定科目		本部	保育	高齢・障害	公益・収益	内部消去	合計
事業活動収支	収入	10	1,336	4,067	180	△6	5,587
	支出	33	1,237	3,671	123	△6	5,058
事業活動資金収支差額		△22	99	395	57	0	529
施設整備等収支	収入	0	0	15	0	0	15
	支出	0	188	240	39	0	467
施設整備等資金収支差額		0	△188	△225	△39	0	△452
その他の活動収支	収入	113	170	36	7	△127	199
	支出	0	16	134	15	△127	38
その他の活動資金収支差額		113	154	△98	△8	0	161
予備費		0	65	0	0	0	65
当期資金収支差額合計		90	0	73	10	0	173
前期末支払資金残高		455	212	1,524	53	0	2,244
当期末支払資金残高		546	212	1,597	63	0	2,417

（保育は認定こども園を含む）